平 成 ２ １ 年 ３ 月企画政策部統計分析課

「平成２０年 青森県の人口」について

１ 人口の動向について

平成２０年１０月１日現在の本県推計人口は１，３９４，８０６人で、前年に比べ

１３，７８３人（０．９８％）の減少となった。

平成１９年１０月１日から平成２０年９月３０日までの自然動態は、出生数者が

１０，３２８人、死亡者数が１５，２４９人で、自然増減数は４，９２１人（０．３５％） の減少となった。

また、平成１９年１０月１日から平成２０年９月３０日までの社会動態は、転入者数が

２２，８９５人、転出者数が３１，７５７人で、社会増減数は８，８６２人（０．６３％） の減少となった。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年次 | 人口 | 人口増減数 | 人口増減率 | 自然増減数 | 自然増減率 |  |  | 社会増減数 | 社会増減率 |  |  |
| 出生者数 | 死亡者数 | 転入者数 | 転出者数 |
| 平成１７年 | 1,436,657 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １８ | 1,423,412 | -13,245 | -0.92% | -4,099 | -0.29% | 10,603 | 14,702 | -9,146 | -0.64% | 23,912 | 33,058 |
| １９ | 1,408,589 | -14,823 | -1.04% | -4,650 | -0.33% | 10,203 | 14,853 | -10,173 | -0.71% | 23,011 | 33,184 |
| ２０ | 1,394,806 | -13,783 | -0.98% | -4,921 | -0.35% | 10,328 | 15,249 | -8,862 | -0.63% | 22,895 | 31,757 |

注：人口は10月1日現在。平成17年の人口は、国勢調査結果。

80,000

（人）

人口動態の推移

（増減の単位：人）

20,000



出生

死亡

人口増減社会増減

転入

転出

自然増減

60,000 15,000

40,000 10,000

20,000 5,000

0 0

-20,000 -5,000

-40,000 -10,000

-60,000 -15,000

-80,000

S51 S52 S53 S54 S55 S56 S57 S58 S59 S60 S61 S62 S63 H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20

-20,000

２ 年齢別推計人口について

年少人口（０歳から１４歳）は、前年に比べ４，４４３人減の１８４，２２６人となり、構成比は１３．２％（平成１７年国勢調査１３．８％）となった。

生産年齢人口（１５歳から６４歳）は前年に比べ１５，２８２人減の８６４，３４７人となり、構成比は６２．０％（平成１７年国勢調査６３．４％）となった。

老年人口（６５歳以上）は前年に比べ５，９４２人増の３４５，９５３人となり、構成比は２４．８％（平成１７年国勢調査２２．７％）となった。

年齢(３区分)別人口の推移

（単位：人、％）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | 次 |  | | | | 構 | | 成 比 | |
| 総 人 口 | 年少人口  （0～14歳） | 生産年齢人口  （15～64歳） | 老年人口  （65歳以上） | 年少人口  （0～14歳） | 生産年齢人口  （15～64歳） | | 老年人口  （65歳以上） |
| 平成 | １７ 年 | 1,436,657 | 198,959 | 910,856 | 326,562 | 13.8 | | 63.4 | 22.7 |
|  | １８ | 1,423,412 | 194,018 | 896,042 | 333,072 | 13.6 | | 63.0 | 23.4 |
|  | １９ | 1,408,589 | 188,669 | 879,629 | 340,011 | 13.4 | | 62.4 | 24.1 |
|  | ２０ | 1,394,806 | 184,226 | 864,347 | 345,953 | 13.2 | | 62.0 | 24.8 |

（注） 総人口には、年齢不詳を含んでいる。

３ 年齢別県外転出入状況について

各年齢別の県外転入者数は、１８歳から増加し、２２歳がピークとなり、それ以降は年齢が高くなるにつれて少なくなっている。

一方、県外転出者数は、１８歳が最も多く、次に２２歳、２０歳と続き、２２歳を超えると年齢が高くなるにつれて少なくなっている。



65 70歳

60

55

50

45

40

35

30

25

20

15

10

5

0

-4000

-3000

県外転入

県外転出差引増減

-2000

-1000

0

1000

人

2000

年齢別県外転出入の状況

青森県の人口ピラミッド（平成20年10月1日現在）

男性 女性

90～



85

69歳： 80

日中戦争の動員による

昭和13～14（1938～39）年の出生減 75

70

65 62,63歳：

終戦前後における出生減

60

55

59～61歳：

昭和22～24（1947～49）年の 50

第1次ﾍﾞﾋﾞｰﾌﾞｰﾑ

45

40

42歳：

昭和41（1966）年の

ひのえうまによる出生減

35

30

34～37歳：

25 昭和46～49（1971～74）年の第2次ﾍﾞﾋﾞｰﾌﾞｰﾑ

20

15

10

5

15,000

10,000

（人）

5,000

0（歳）

0

0 5,000 10,000 15,000

（人）

（注１）90歳以上人口は、まとめて90歳以上とし、年齢不詳を除いた。

（注２）上記年齢別推計人口は、平成1７年国勢調査人口を基礎に推計している。